

令和元年度事務事業実績評価表

1 事業概要

		課名	農業課	事業No.	175
事務事業名		畜産振興事業	一般会計		
		事業区分	政策	実施区分	継続
		開始		終了	
根拠	主要区分	主	記号	計画等名称	
	戦略計画				
	分野別計画			地域経済活性化プログラム	
				農業振興ビジョン	
	法令・例規等				
事業目的	対象	畜産農家、畜産関係団体			
	意図	畜産業の振興			

2 事業内容

1年度取組	取組内容		経費の内容				事業費(千円)				
	畜産農家の施設整備等を支援するとともに、和牛素牛の導入、乳牛の雌雄判別精液の導入、家畜伝染病予防のためのワクチン接種等、生産対策等に関わる取組を支援しました。CSF（豚熱）防疫対策として、国及び県と連携して養豚場周辺に防護柵（9件）や車両消毒装置（3件）の整備を支援するとともに、本庁舎や出先機関に消毒マット等を設置し、まん延防止対策に取り組みました。酪農の規模拡大を行う農業者の施設整備に向けて、計画策定、国庫補助申請など生産団体と連携して支援しました。（R2繰越）		畜産施設整備支援事業補助金			4,388					
			畜産生産緊急対策事業補助金			1,905					
			J Aみなみ信州畜産共進会負担金他			1,548					
			家畜防疫緊急対策事業補助金			7,701					
			その他の経費			0					
	活動指標	指標名（数値で表せる活動量）	単位	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度	
				計画	実績	計画	実績	計画	実績	計画	実績
		畜産農家戸数	戸	101	98	100	93	100	89		
		飼養頭数（肉用牛）	頭	2,400	1,847	2,400	1,977	2,400	1,913		
飼養頭数（乳用牛）		頭	1,000	1,021	1,000	963	1,000	956			
飼養頭数（豚）		頭	8,500	7,915	8,500	8,349	8,500	10,361			
飼養頭数（馬・羊等）		頭	100	134	100	76	100	68			
飼養羽数		羽	27,500	23,464	24,000	25,387	24,000	8,610			
施設整備等支援件数	件	3	3	3	5	3	6				
生産対策等支援件数	件	60	60	90	63	90	56				
1年度決算(千円)	予算額	72,033	特定財源内訳及び補正事項								
	決算額	15,542	1→2 繰越明許費 51,527千円								
	財源の状況	国庫支出金	0								
		県支出金	0								
		地方債	0								
その他		0									
	一般財源	15,542									

3 事務事業を構成する予算科目

番号	会計	款	項	目	大 事 業	中 事 業	予算額	決算額	中事業名(科目名称)
1	1	6	1	6	10	1	72,033	15,542	畜産振興事業費
2									
3									
4									
5									
6									
7									
振返り課題認識		飼料価格の高止まり、素牛導入価格の高騰など畜産農家の経営は厳しい状況が続いています。また、高齢化により農家数は減少傾向にあり、飼育頭数を維持していくためには施設整備等の支援とともに、担い手の確保や規模拡大可能な経営形態への転換も求められています。養豚農家においては、昨年発生したCSF（豚熱）の感染防止対策のための防護柵等の設置を支援しましたが、養豚場の防疫対策やワクチン接種経費等の負担が増加しています。							
上記の課題解決のための有効策		県内有数の畜産産地として維持していくためには、既存農家の経営改善のための支援とともに、新たな担い手の確保や国庫事業を活用した規模拡大への支援など、生産団体と振興策を検討していきます。養豚農家においては、CSF（豚熱）の防疫対策経費が増加しており、経営安定に向けてワクチン接種経費の負担軽減を図ります。							
次年度に向けての取り組み		畜産農家の施設改修等による経営改善の取組を支援するとともに、酪農、肉牛（繁殖・肥育）農家のヒアリングを実施し、後継者の有無や事業承継に対する考え方を把握し、生産団体と今後の畜産振興策を検討していきます。養豚農家のCSF（豚熱）対策の負担軽減を図るため、ワクチン接種に要する経費を支援します。							